



アグリ情報 ちば



Agri Information CHIBA

 JA全農ちば



親子農業体験教室を開催！(8月10日)
詳細はP.14

私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**になります。



CONTENTS

食と農を未来へつなぐ。

- ・ドローン防除で農業労働力支援

宮農情報

- ・園芸野菜 病害虫防除情報

園芸情報

- ・販売経過および情勢

米穀・特産情報

- ・米穀・特産情勢

肥料情報

- ・『追肥』と『液体肥料』について

資材情報

- ・JAを通して全農が供給するパイプハウスを建てると補償がついてきます ～系統パイプハウス補償制度のご紹介～

トピックス

- ・令和7年度千葉なし出陣式を開催！
- ・「親子農業体験教室」開催！

お知らせ

- ・令和8年度 千葉県立農業大学校の学生募集について



食と農を未来へつなぐ。

JA全農ちばの取組状況
営農事業

ドローン防除で 農業労働力支援

1. はじめに

農業生産者が減少する中、一戸当たりの作付面積は拡大しています。現場では依然として人手や熟練者に頼る作業が多く、作業労力の軽減・労働力の確保などが重要な課題となっています。

そのような中、課題解決の手段の一つとしてスマート農業に注目が集まっており、農業用ドローンの活用が期待されています。

営農支援課ではドローンによる農薬散布請負等について、JAと連携し事業化しました。また、今年度は農薬散布だけでなく、施設園芸の高温対策である遮光剤塗布作業にも取り組んでいます。

表1 これまでの取り組み実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
JA数・面積	3JA 22.4ha	7JA 111.1ha	12JA 407.4ha	12JA 337.4ha

2. 事業の仕組み

ドローン防除作業は、ドローン散布業者（ドローンプロフェッショナルサービス株※DPS社・市原市）に業務委託し実施しています。

令和6年度は、水稻での防除、直播等のほか、大豆、果樹（びわ）、野菜に取り組みました。

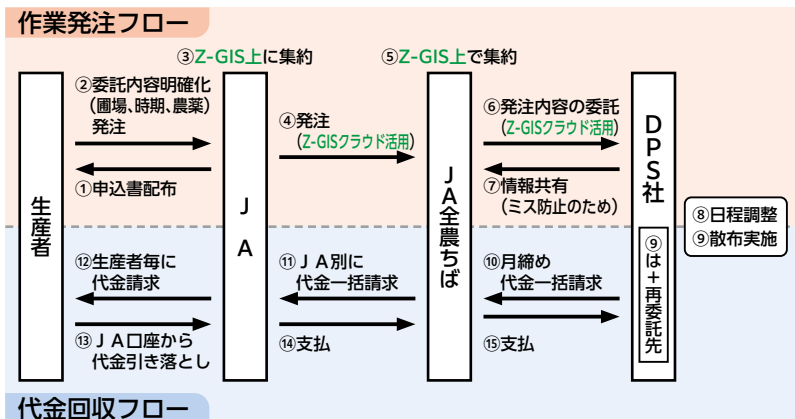


図1 事業スキーム

3. Z-GIS（全農営農管理システム）を活用

ドローン防除実施圃場は、事前にZ-GISにて電子地図化することで、業務の効率化をはかっています。Z-GISの圃場データを農業生産者・JA・JA全農ちば・DPS社が共有することで、原則として当日の生産者立ち合いも必要なく、スムーズな薬剤散布につなげることが可能です。

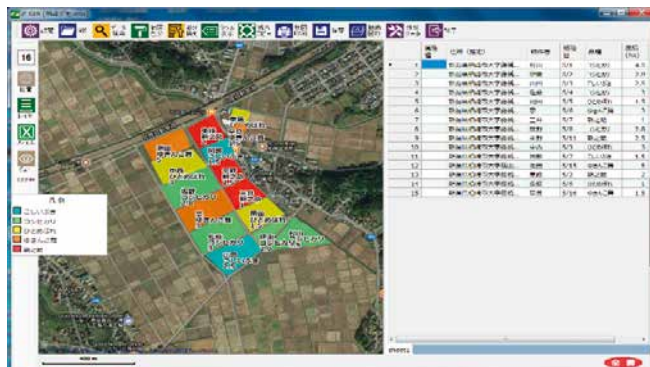


図2 Z-GISイメージ

お問い合わせは、最寄りのJAへご連絡ください

1. はじめに

依然として気温が非常に高い状況が続いています。引き続き害虫の多発には十分注意しましょう。また、9月は台風の発生、接近が増加する時期です。気象予報に留意し、病害虫防除とともに、施設等の点検および保護など事前対策を心がけましょう。

2. キャベツ（チョウ目害虫）

9～10月にかけてヨトウムシ・ハスモンヨトウ・オオタバコガ・ウワバ類などが定植直後の株に被害を及ぼし、特に生長点が食害されると欠株を招きます。10月以降はコナガの発生も増え、外葉の食害も増えてきます。そのため、9～10月は重要な防除時期です。定植後からの早期防除を徹底しましょう。

(1) ヨトウムシ類

ヨトウムシ、ハスモンヨトウは卵を1か所に200～300個の卵塊で産み付けます。孵化後、幼虫は周囲へ分散し、成長するにつれて食害の量を増やしていきます。そのため、防除が遅れると被害を抑えることが困難です。夏が高温少雨の年は発生が多くなりますので、早期防除を徹底しましょう。



ヨトウムシ卵塊



ハスモンヨトウ卵塊



孵化直後のヨトウムシ



ハスモンヨトウ若齢～終齢幼虫

(2) オオタバコガ ＊本年の多発生に注意！

8月13日に千葉県より、病害虫発生予察注意報としてオオタバコガの発生予報が出ています。オオタバコガはヨトウムシと異なり、一卵ずつ点々と産卵するため、初期被害も点々としています。中齢幼虫以降になると結球内部に潜り込むため、被害は極めて大きくなります。

(3) コナガ

幼虫は葉肉だけを食害し、葉の表皮を残すため葉が透けて見えます。多発すると畑全体が白く見えるようになります。薬剤への抵抗性の発達が非常に速い害虫で、千葉県内ではジアミド系薬剤（IRACコード：28 フェニックスやプレバソンなど）の効果が低下しています。地域のジアミド系薬剤の効果に注意し、同じ系統の薬剤の連用、多用は避けましょう。



コナガの食害の様子

<チョウ目害虫防除のポイント>

ア. 若齢期（体長1 cmまでが目安）までに防除

同じ幼虫でも成長した後では薬剤の効果が十分に期待できませんので、発生前～発生初期の防除を心がけましょう。

イ. 薬剤のローテーション散布

同じ系統（IRACコード）の薬剤を連用・多用しないようにしましょう。

ウ. 葉裏まで薬剤がかかるようにたっぷり散布

幼虫は葉裏や結球内部に潜るため、丁寧に散布しなければ薬剤が行き届きません。特に、浸透移行性の無い薬剤は注意が必要です。散布液量を多めにするなど効果的です。

○キャベツ チョウ目害虫防除薬剤

対象害虫	IRAC	薬剤名	希釈倍数※	使用時期	使用回数
ハスモン・ヨトウムシ・コナガ	4 E	フィールドマストフロアブル	4000倍	収穫前日	2回以内
	6	アフーム乳剤	1000倍	収穫前日	3回以内
ハスモンヨトウ・ヨトウムシ・オオタバコガ・コナガ	5	ディアナSC	2500倍	収穫前日	2回以内
	28	プレバソンフロアブル5	2000倍	収穫前日	3回以内
	30	グレーシア乳剤	2000倍	収穫7日前	2回以内
		プロフレアSC	2000倍	収穫前日	3回以内
ヨトウムシ・コナガ ハスモンヨトウ	15	マッチ乳剤	2000倍	収穫7日前	3回以内
			3000倍		
コナガ	21A	ハチハチ乳剤	1000倍	収穫14日前	2回以内

※登録のうち最大濃度を示しています（1000～2000倍登録→1000倍）

3. だいこん（キスジノミハムシ・ハイマダラノメイガ）

いずれの害虫も子葉展開時から発生し始めますので、早めの防除を実施しましょう。

(1) キスジノミハムシ

早播き（8月中旬～下旬）では被害が多く見られます。

成虫は体長数ミリで、食害痕として子葉に小さい穴が残ります。

根部の被害は土壌中に潜り込んだ幼虫が原因です。



(2) ハイマダラノメイガ（シンクイムシ）

成虫は体長1～2 cmくらいの茶褐色の蛾で、葉裏に産卵します。幼虫は生長点を食害するため欠株の原因となります。

本葉1～2枚頃までに防除を行いましょう。



○だいこん キスジノミハムシ・ハイマダラノメイガ 防除薬剤

対象害虫	IRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
キスジノミハムシ	4 A	スタークル粒剤	9～12kg/10a	播種時	1回	全面土壌混和
	3 A	フォース粒剤	6～9kg/10a	播種時	1回	全面土壌混和
	4 E	フィールドマストフロアブル	4000倍	収穫3日前	2回以内	ハイマダラノメイガにも登録あり
	30	プロフレアSC	2000～4000倍	収穫前日	3回以内	
ハイマダラノメイガ	28	プレバソンフロアブル5	2000倍	収穫前日	3回以内	

4. ねぎ（ハモグリバエ）

・ネギハモグリバエ ～新系統に注意！～

葉の内部に産卵され孵化した幼虫が葉肉を食害し、写真のような白い線状の食害痕を残します。4月ごろから発生し、年に5～6世代を繰り返します。被害は5月と8～9月に多く、暖冬や空梅雨・夏期の高温少雨は多発の要因となりますので、本年は特に注意が必要です。白斑が増加したら直ちに防除を実施しましょう。



ネギハモグリバエによる食害痕

〈新系統（B系統）ハモグリバエについて〉

近年では、従来のネギハモグリバエの遺伝子型（A系統）と異なる遺伝子型である別系統（B系統）の発生が確認されています。B系統は、従来系統と比較して葉に著しい食害痕が見られるほか、近接した食害痕どうしが重なり葉が白化したような被害が見られます。激発すると、圃場全体が白く見えるようになります。一見すると高温によるしおれや、白色疫病などの病害に類似していますのでご注意ください。両系統を形態で識別するのは困難ですが、現時点で系統間の薬剤感受性（農薬の効き方）の差は明確になっていません。本虫の発生が見られたら、系統に関わらず薬剤防除を実施しましょう。



※梅雨が短く、高温乾燥な夏となった本年は、すでに県内一部地域でアザミウマの多発が見られています。引き続き注意しましょう。

○ねぎ アザミウマ類・ハモグリバエ類防除薬剤

対象害虫	IRAC	薬剤名	希釈倍数※	使用時期	使用回数
アザミ類・ハモグ類	28	ベネピアOD	2000倍	収穫前日	3回以内
	30	グレーシア乳剤	2000倍	収穫7日前	2回以内
	6	アフーム乳剤	1000倍	収穫7日前	3回以内
アザミ類・ネギハモ	5	ディアナSC	2500倍	収穫前日	2回以内
	21A	ハチハチ乳剤	1000倍	収穫7日前	2回以内
ネギアザ・ネギハモ	4A	ベストガード水溶剤	1000倍	収穫前日	3回以内
	14	リーフガード顆粒水和剤	1500倍	収穫7日前	2回以内

※1 アザミ類：アザミウマ類、ネギアザ：ネギアザミウマ、ハモグ類：ハモグリバエ類、ネギハモ：ネギハモグリバエ

※2 登録のうち最大濃度を示しています（1000～2000倍登録→1000倍）

☆ねぎは農薬が付着しにくい作物です。展着剤（グラミンS、スカッシュ、ニーズ、ドライバーなど）を加用しましょう。

園芸情報

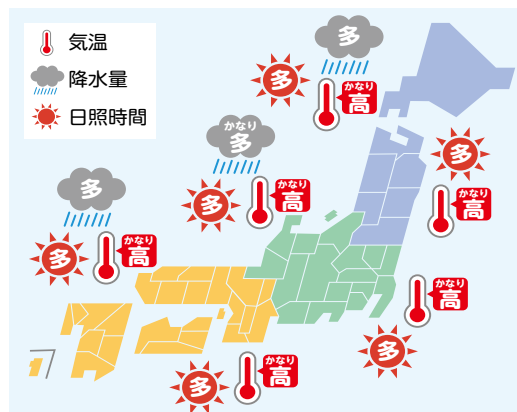
販売経過および情勢

青果物 8月の販売経過

8月の天候は、偏西風が平年よりも北寄りに流れ、全国的に暖かい空気に覆われました。また、低気圧や前線に向かって暖かい空気が流れ込む時期もあり、月平均気温は全国的にかなり高くなりました。特に、8月5日には群馬県伊勢崎で41.8℃を記録し、観測地点として全国過去最高を更新しました。

降水量は、前線や低気圧の影響を受けやすかった東日本の日本海側でかなり多く、北・西日本の日本海側でも多くなりました。

日照時間については、全国的に多くなりました。



【野菜】 東京都中央卸売市場の野菜の入荷量は、10万533トン（前年比：90％）となり、価格は314円/kg（前年比101％）となりました。主要な産地の多くで一時的に降雨はあったものの、干ばつの影響がみられたことから入荷量の伸びは鈍く、前年を下回りました。特に果菜類への高温の影響が大きく、トマトは7月下旬から花落ちが見られ、きゅうりは成り疲れにより下位等級品の割合が増えたことから入荷量は前年を下回り、価格は堅調な推移となりました。一方で、キャベツは生育順調に推移し、ブロッコリーについても、作付の拡大から入荷増加傾向となり、価格は前年を下回る推移となりました。

【果実】 東京都中央卸売市場への入荷量は2万8,451トン（前年比：92％）となり、価格は661円/kg（前年比103％）となりました。果実についても高温等の影響から入荷量は前年を下回る推移となりました。月前半は、もも類で山梨産が出荷終盤となる中、福島が台風の影響により出荷減となったことから入荷量は前年を大幅に下回り、前年を上回る高値が続きました。また日本なし類では、干ばつの影響から関東産を中心に小玉傾向となり箱数が少なかったため、価格は堅調な推移となりました。しかし月後半になると、お盆需要が落ち着いたことにくわえ、続く高値疲れの影響から荷動きが鈍くなり、価格は前年並みからやや下回るものとなりました。

※数値はどれも東京都中央卸売市場統計データによる

東京都中央卸売市場の野菜・果実入荷量および単価（8月）

	数 量		単 価	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)
野 菜	100,533	90	314	101
果 実	28,451	92	661	103

JA全農ちばの販売状況（8月）

	数 量		単 価		取 扱 額	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)	(百万円)	前年比 (%)
野 菜 計	3,665	95	384	103	1,407	97
果 実 計	8,634	91	365	105	3,147	95
ほうれん草	13	98	755	98	10	96
ね ぎ	175	81	361	100	63	82
パ セ リ	10	112	1,590	112	16	125
き ゅ う り	302	85	294	91	89	78
ト マ ト	169	72	402	123	68	88
し し と う	59	138	1,268	66	75	90
とうもろこし	152	75	234	89	36	67
さつまいも	1,343	103	286	107	385	110
な し	2,843	93	536	106	1,524	99

9月主要品目

作付動向・作柄状況

見通し基準（前年対比）	
多・高	+ 10%以上
やや多・やや高	+ 5%～10%
並	± 5%以内
やや少・やや安	- 5%～10%
少・安	- 10%以上

入荷量・価格は
東京都中央卸売
市場の集計です

品 目	入荷量 (t)		単価(円/kg)		主産地	作柄および概況
	当年見通し	前年実績	当年見通し	前年実績		
キャベツ	並	15,290	やや安	96	群馬 岩手	群馬・岩手を中心とした出荷が続く。群馬は一部で乾燥の影響が見られたものの、その後は回復し、生育は概ね順調。出荷量は概ね前年並みとなり、価格は高かった前年をやや下回る見込み。
だいこん	並	6,974	やや安	146	北海道 青森	猛暑・干ばつの影響から生育不良や品傷みの発生が懸念されており、出荷量は少なかった前年並みを見込む。価格は消費動向が前年より鈍いことから前年をやや下回る見込み。
にんじん	やや少	6,456	やや高	141	北海道	北海道は干ばつ等の影響から細物傾向となり前年を下回る出荷量の見込み。価格は、給食需要等で太物中心に引き合いが強まり、前年を上回る価格を見込む。
トマト	やや少	4,979	並	638	北海道 福島	夏秋産地は、高温の影響を受けて出荷は少ないことが見込まれる。抑制産地も不安定な出荷が予想されることから、前年と同様に堅調な価格で推移する見込み。
きゅうり	並	6,226	やや安	443	福島 群馬 岩手	北関東産を中心に増加傾向となるも、猛暑の影響で樹勢は弱く、下位等級中心の発生で不安定な入荷となる見込み。価格は高値となった前年をやや下回ることが見込まれる。
ねぎ	並	3,868	やや安	436	北海道 青森 秋田	高温の影響により細物の発生が多く、出荷量は前年並みを見込む。価格は給食需要が始まるものの、小売・量販店の荷動きが鈍く軟調な販売展開となる見込み。
ほうれん草	やや少	564	やや安	1,051	群馬 栃木	各産地、高温の影響から前年同様少ない出荷量が続く見込み。価格は、出荷量の減少に伴いやや強めの荷動きが見込まれるが、高値であった前年を下回る見込み。
パセリ	並	24	やや安	3,700	長野 千葉	主力産地の出荷量は高温の影響から減少しており、少なかった前年並みを見込む。価格は、業務需要の低迷から高値であった前年を下回る見込み。
さつまいも	やや多	3,179	やや安	275	千葉 茨城	高温の影響から収穫時期をずらしたため9月は潤沢な出荷を見込むが、気温が高いため消費動向は鈍く苦しい販売が見込まれる。生育期の天候不良から品質に若干の懸念あり。
なし	やや多	7,514	やや安	430	栃木 福島 茨城 千葉	生育・肥大は良好で着果はやや多いことから出荷量は前年を上回る見込み。価格は上旬に各産地から豊水の出荷が多いことにより、軟調な販売展開を見込む。

花 販売情勢

◆8月の販売経過【切花】

前年は高温の影響から、不安定な出荷となり需要期に数量が纏まらない品目が多く見られました。本年においても、高温に加え降雨量が少なかった影響から品目毎に出荷時期にバラツキ見られ、不安定な出荷となりました。

販売については、菊類等の仏花商材においては、上旬は8月盆に向けて需要が高まり安定した販売となりました。しかし、8月盆が明けると月末まで大きな需要が無いことに加え、出荷遅れとなっていた分の入荷が続いたことから厳しい販売となりました。洋花については、高温の影響から生育不良が見られ下位等級の比率が例年よりも多くなったことや、酷暑の影響から小売店での販売が厳しいものとなったことから月を通して厳しい販売環境となりました。

◆今後の見通し（10月）【切花】

10月は出荷産地が高冷地から暖地へ移行する時期となりますが、品目によっては夏場の猛暑や台風等の天候状況から、出荷時期が前後し、不安定な入荷となることが懸念されます。

販売については、ブライダルシーズンとなり、週末にかけては洋花中心に動きが出る見込みです。また、オレンジ・茶系商材については秋を演出する季節商材として需要は高く、下旬にはハロウィン需要もあるため月を通して安定した販売になる見込みです。



◆今後の見通し（10月）【品目別】

品 目	作 柄 お よ び 概 況
カーネーション	国産品は高冷地が出荷終盤となるため暖地の下位等級主体での出荷となり、輸入品においては、南米・中国産中心の入荷となる見込み。 ハロウィンの装飾需要中心に動きが出る見込み。
ガ ー ベ ラ	静岡・千葉などからの出荷。残暑の影響から出荷増量となる時期は産地ごとに前後するものの、概ね安定した入荷となる見込み。 ブライダル需要を中心に動きがある見込み。
鉄 砲 ユ リ	兵庫・岐阜・高知などからの出荷。 7月、8月の降雨量が少なかったことから生育不良が見られ、出荷量は平年を下回る見込み。 葬儀等業務中心の動きとなる見込み。
トルコキキョウ	10月中旬までは福島・秋田等の高冷地からの出荷が中心となり、下旬になると静岡・福岡等の西南暖地からの出荷が始まる見込み。高温の影響から産地の切り替えがうまくいかず、不安定な出荷となることが懸念される。 ブライダル需要を中心に安定した販売となる見込み。

米穀・特産
情報

米 穀 ・ 特 産 情 勢

1. 令和7年産水稻の8月15日現在における収量見込み

（農林水産省8月29日公表）

(1) 全国の10aあたりの収量の前年比見込み

全国の収量は、前年を「上回る」または「やや上回る」が13府県、「平年並み」が29都道府県、「やや下回る」が4県とおおむね順調に推移しているの見込まれています。なお、千葉県については「やや下回る」と見込まれています。

田植期以降、総じて多照で推移しており、8月15日時点における生産はおおむね良好な見込みです。なお、8月15日以降も全国的に高温傾向が続いたことに加え斑点米カメムシ類（イネカメムシを含む）の発生が多くなることが予想されており、品質等への影響に留意する必要があります。

今回発表された10a当たり収量の前年比見込みは、気象データおよび人工衛星データを説明変数、10a当たり収量を目的変数として予測式（重回帰式）を作成し、予測したものとなっています。なお、10a当たり予想収量は、未確定の要素が多いことから公表することとしていません。

【図表1】10a当たり収量の前年比見込み（区間ごとの都道府県数）

10a当たり収量の前年比見込み	都道府県数
上回る（対前年比106%以上）	1
やや上回る（対前年比105%～102%）	12
前年並み（対前年比101%～99%）	29
やや下回る（対前年比98%～95%）	4
下回る（対前年比94%以下）	0

- 徳島県、高知県、宮崎県および鹿児島県は早期栽培を含まない普通栽培のみの10a当たり収量の前年比見込みである。
- 沖縄県については、第二期稲の田植えが終了していないことから含んでいない。
- 10a当たり収量の前年比見込み（8月15日現在）は、その後の気象が、前年と同様に推移するとの前提ではなく、平年並みに推移するものとして予測を行ったものであることに留意が必要である。

【図表2】水稻の年次別推移（全国）

年 産	作 付 面 積 (主食用)	生産者が使用している ふるい目幅で選別			ふるい目幅 1.70mmで選別		作 付 面 積 (子実用)	ふるい目幅 1.70mmで選別
		10a当たり 収 量	対前 年 比	収 穫 量 (主食用)	10a当たり 収 量	収 穫 量 (主食用(生産者ふ るい下米含む。))		
	ha	kg	%	t	kg	t	ha	t
平成27年産	1,406,000	515	ne	...	531	7,442,000	1,505,000	7,986,000
28	1,381,000	531	103	...	544	7,496,000	1,478,000	8,042,000
29	1,370,000	517	97	...	534	7,306,000	1,465,000	7,822,000
30	1,386,000	511	99	...	529	7,327,000	1,470,000	7,780,000
令和元	1,379,000	514	101	...	528	7,261,000	1,469,000	7,762,000
2	1,366,000	508	99	6,906,000	531	7,226,000	1,462,000	7,763,000
3	1,303,000	515	101	6,698,000	539	7,007,000	1,403,000	7,563,000
4	1,251,000	511	99	6,390,000	536	6,701,000	1,355,000	7,269,000
5	1,242,000	515	101	6,390,000	533	6,610,000	1,344,000	7,165,000
6	1,259,000	519	101	6,519,000	540	6,792,000	1,359,000	7,345,000

2. 令和7年産米刈取進捗状況について

刈取開始日は地域差が見られるものの、全体的に前年より早く、平年より1週間以上早まった地域も見受けられました。8月29日現在の刈取進捗は千葉県全体で59.1%と、前年よりやや早い進捗状況となっています。

【図表3】刈取進捗状況（8月29日現在）

農業 事務所名	収穫面積 (ha)	刈取開始日 (月日)	項目	R7調査基準日					R6
				8月1日	8月8日	8月15日	8月22日	8月29日	刈取完了日 (月日)
千葉	3,160	7月31日 (-9)	面積 (ha) 進捗率 (%)	45 1.4	112 3.5	196 6.2	963 30.5	1,769 56.0	11月19日 (-4)
東葛飾	2,936	7月30日 (-14)	面積 (ha) 進捗率 (%)	10 0.3	60 2.0	120 4.1	204 6.9	348 11.8	11月22日 (+10)
印旛	7,885	8月1日 (-4)	面積 (ha) 進捗率 (%)	1 0.0	4 0.1	144 1.8	877 11.1	2,808 35.6	11月11日 (-26)
香取	8,990	8月5日 (-3)	面積 (ha) 進捗率 (%)	0 0.0	19 0.2	475 5.3	4,175 46.4	6,080 67.6	10月25日 0
海 匝	5,865	8月2日 (-6)	面積 (ha) 進捗率 (%)	0 0.0	3 0.1	234 4.0	1,439 24.5	3,839 65.4	10月17日 (-4)
山 武	7,554	8月2日 (-5)	面積 (ha) 進捗率 (%)	0 0.0	112 1.5	266 3.5	2,064 27.3	4,476 57.2	10月29日 (-9)
長 生	4,168	7月26日 (-6)	面積 (ha) 進捗率 (%)	10.0 0.2	230 5.5	664 15.9	1,607 38.6	3,383 81.2	11月25日 (+9)
夷 隅	2,436	7月19日 (-2)	面積 (ha) 進捗率 (%)	35 1.4	64 2.6	346 14.2	863 35.4	1,743 71.5	10月31日 (-2)
安 房	2,510	7月31日 (+3)	面積 (ha) 進捗率 (%)	2 0.1	74 2.9	339 13.5	845 33.7	1,884 75.0	10月31日 (+5)
君 津	4,376	7月26日 (-7)	面積 (ha) 進捗率 (%)	18 0.4	207 4.7	574 13.1	1,751 40.0	3,287 75.2	10月27日 (-6)
県 計	49,880	7月19日 (-2)	面積 (ha) 進捗率 (%)	121 0.2	885 1.8	3,358 6.7	14,788 29.6	29,617 59.1	11月25日 (-12)

（注）「刈取開始日」および「刈取完了日」欄の下端は、対平年（5か年平均）遅速日数。（早い場合は－、遅い場合は＋で表す）

3. 令和7年産の米消費拡大の取り組み

令和7年産の新米販売が開始されました。一方で9月1日以降も随意契約の備蓄米が販売されるなど例年にない状況となっています。このような状況においても新米の販売を推し進めるため、量販店等でのPR活動やマスコミを通じたキャンペーンを実施します。

（1）入札備蓄米の動向

BayFMサマーキャンペーン2025へ協賛し、ラジオCMの投入、グッズ配布等で千葉米の回り開始をPRします。

（2）アスリートを起用したPR活動

女子レスリングの須崎優衣選手（千葉県松戸市出身）のポスター掲載による量販店での千葉米PRや、SNSによるメッセージ配信により、県産米購買層の開拓を図ります。

（3）千葉県との取り組み

令和7年産千葉米食味コンクールを開催し、千葉県産米の品質向上に対する取り組みを消費者へPRします。

4. 令和8年まき種子もみの申込みについて

種子もみは毎年更新することで、品種特性（食味や品質等）を保持することができ、安定して高品質米を生産できることは産地の信頼につながります。

種子の申し込みは必要量を早めに確定し、申し込み漏れが無いようお願い申し上げます。

- (1) 申し込み日：令和7年9月30日までにJAに申し込んでください。
- (2) 申し込み単位：4kg単位（10アール分）で申し込んでください。
- (3) 種子配布時期：令和8年2月頃から配布します。

5. 落花生の生育状況と今後の注意事項について

今年は7月から8月にかけて、平均気温、日照時間ともに平年を上回って推移しました。6月下旬から7月下旬には降雨がほとんどなく、圃場が干ばつ状態になりました。高温・多照により、平年と比較して開花期が早く、地上部乾物重も大きくなっていますが、8月8日時点の作況調査および落花生研究室では、特に5月20日頃に播種した圃場で無灌水の場合には、空さやの発生や子実の充実不足の恐れがあります。

(1) 「試し掘り」で適期収穫

落花生の掘取時期の目安は、下表のとおりです。必ず試し掘りをして、収穫適期を逃さないようにしましょう。また、**砂地の圃場では地温が高くなりやすく、収穫時期が早まる傾向**にあるので、早めに試し掘りをしてください。

掘り遅れた場合、「ナカテユタカ」は食味が低下し、「千葉P114号（Qなっつ）」は落ち実が発生しやすくなるので、特に注意が必要です。

【図表4】開花期からの掘取時期の目安

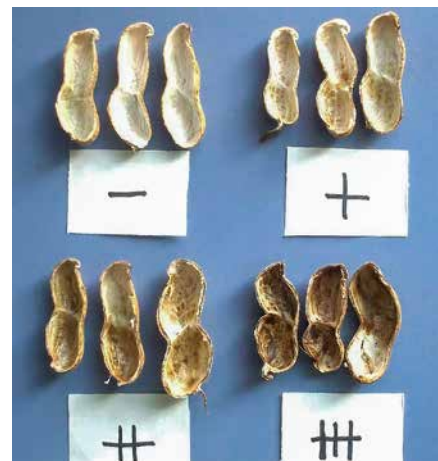
	千葉半立	ナカテユタカ	おおまさリネオ	千葉P114号
開花期からの掘取時期の目安	95日後	80日後	85日後 (ゆで豆用)	80日後

【図表5】収穫適期判断法

「ナカテユタカ」および「千葉P114号（Qなっつ）」は、さやの裏の色で収穫適期が判断できます。

<方法>

- ① 圃場の中で生育が中庸な4株を掘り、それぞれの株もとのさやを5つとり、さやの裏の色を見ます。
- ② 合計20個のさやのうち、その半数以上の色が淡褐色（写真+）以上になり、黒褐色（写真+++）のさやがひとつでも見られたときが掘り取りの適期です。
- ③ 開花期から予想される適期の7日前から、2～3日おきに試し掘りをして判定します。



肥料情報

『追肥』と『液体肥料』について

作物の栄養が不足する場面では**迅速な栄養補給**が必要になります。

速効性肥料による『追肥』や『液体肥料』を活用して収量UPにつなげましょう！



速効性肥料（追肥）のラインナップ

★ 硝磷加安 S842 (20kg)



N-P-K
18-4-12

チッソ成分の内約4割が硝酸性の為、速効性があり追肥に最適です。

★ オレンジライト (15kg)



N-P-K-Mn-B
16-10-14-0.4-0.2

チッソ成分の内約4割が硝酸性の為、速効性があり追肥に最適です。マンガン・ほう素・ケイ素・銅・モリブデン等の微量元素入りで生理障害(要素欠乏等)を防ぐ効果が期待されます。



★ 野菜の達人 (15kg) 1kgボトル 新発売!!

N-P-K 15-14-10

ポーラス（中空）形状になっている速効性肥料。少ない水分（朝つゆ、夜つゆ程度）でも溶けるので、効かせたい時にすぐ効く。水に溶かして液肥、葉面散布としても使用可能です。



追肥は栽培期間の長い作物や果樹の礼肥に最適!!



液体肥料のラインナップ

★ トミーネクスシリーズ

『亜リン酸とリン酸の両方が含まれている有機入り液肥』



トミーネクス688 (20kg)

N-P-K 6-8-8

果菜類の追肥で、更にリン酸を効かせたい時、天候不順時の着果促進や花卉類の追肥全般におすすめ。



トミーネクス046 (20kg)

N-P-K 10-4-6

生育初期や樹勢を回復させたい時、低温時の追肥におすすめ。

★ 亜リン酸入りPK液肥14-22 (20kg)



N-P-K 0-14-22

亜リン酸入りで早く効きやすい！窒素が0%なので窒素を抑えたいときや果菜類の肥大、初期の活着促進させたいときに効果を発揮。

★ はつらつ君666 (20kg)



N-P-K 6-6-6

有機態チッソが約50%入っているため、ちばエコ特別栽培に適応。アミノ酸もたっぷり入っているので作物の味の向上が期待できます。

★ 千葉液肥2号 (24kg)



N-P-K 10-4-8

稚苗・中苗の追肥、べんとう肥用の液肥。葉面散布での使用も可能。施設園芸にも適しています。

液体肥料は用途によって施用量を調整することが可能です！



詳しい使い方については最寄りのJAにお問い合わせください

資料情報

JAを通して全農が供給する パイプハウスを建てると補償がついてきます ～系統パイプハウス補償制度のご紹介～

近年、異常気象による災害リスクが年々高まっており、自然災害に対する備えは農業経営に欠かせない要素となっています。今回は、JA全農が取り扱う「パイプハウス補償制度」についてご紹介します。

1. 系統パイプハウス補償制度とは

系統パイプハウス補償とは、生産者が安心して営農を継続できるよう、全農が供給する新設のパイプハウスについて、**完成引き渡し後3年間**の補償を行う商品付帯型のサービスです。

引渡し後3年間に発生する風・ひょう・雪・落雷・水災等の自然災害やその他偶発的な事故による様々な損害を被った際の修繕費用を補填するものです。

2. 補償制度の概要

対象物件	全農が指定する業者で全農を通じて販売したパイプハウス（園芸用、育苗用等） ※パイプハウスと同一工事で施工された場合は、付属設備も含まれます。			
補償期間	物件引渡日から3年間			
補償の種類			いたずら、航空機の墜落・接触、車輛の衝突・接触、騒じょうなどの偶然な事故によって被った損害	
	上記の事故による時価損害額が10万円以上の場合に保険金をお支払いします。			〈自己負担額〉 保険価額の2%相当額（最高10万円、最低1万円）
保険金算出イメージ（一例）	復旧費用から保険会社が認定した新価認定損害額を算出します。 →新価認定損害額から経年劣化に応じた減価額を差し引いた時価損害額を算出します。 →時価損害額から縮小支払い割合70%をかけたものが損害保険金となります。 →損害金保険金に加え、臨時費用保険金・残存物取り片づけ費用保険金に加算され、支払金となります。 ※実際には、激甚災害指定の有無や諸条件により算出方法が異なります。			
補償対象外となる主な事例	1. 農ビ・農POなどのビニールフィルム等の被覆材の単独損害（※一部フィルムを除く） 2. 故意、重過失による損害 3. 地震、噴火、津波による損害 4. 自然消耗または内在する欠陥、カビ、さび、変色、ネズミ・虫食い等による損害 5. ハウスに加工を施した場合、加工着手後に生じた損害 6. 修理中、清掃中の技術の拙劣または過失による損害			

台風シーズンが到来します。台風対策はこちらのURLよりご参照ください。



◆千葉県のホームページ

「農業用ハウス災害被害防止マニュアル」

「千葉県農業用ハウス災害被害防止チェックシート集」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/jouhou/nougyouyouhaususaigaitaisakumanual.html>



詳細な補償内容・条件につきましては、**お近くのJA**もしくは
JA全農ちば資材課（TEL：043-245-7379）までお問い合わせください。

TOPICS

令和7年度千葉なし出陣式を開催！



J A全農ちばは8月2日(土)、大田市場特設会場において、千葉県や千葉県果樹園芸組合連合会（以下果樹連とする）、梨主力4 J A（J A長生・J A市原市・J A西印旛・J Aいちかわ）協力のもと、「令和7年度千葉なし出陣式」を開催しました。

国内最大の卸売市場である大田

市場に、熊谷千葉県知事、谷嶋果樹連顧問、4 J Aの組合長・部長および関係団体の役職員が集結し、栽培面積、生産量、産出額において日本一を誇る千葉県産日本なしの消費拡大および主要産地の本格出荷開始を市場関係者らにPRしました。また、当日は4 J Aのなしを展示するとともに、集まった市場関係者らに対して、熊谷知事と谷嶋顧問より試食品が配られました。

J A全農ちばは引き続き千葉県、県内J Aおよび関係機関と協力し、千葉県産日本なしのブランド力向上と消費拡大を図るため、販売促進活動をすすめてまいります。



お知らせ

令和8年度 千葉県立農業大学校の学生募集について

千葉県農業の発展に寄与する優れた農業の担い手および指導者を育成することを目的として、入学生を募集しています。

試験種類	試験期日（曜日）	出願期間（曜日）	合格発表日（曜日）
推 薦	令和7年10月14日（火曜日）	令和7年 9月12日（金曜日）から 令和7年 9月26日（金曜日）	令和7年10月24日（金曜日）
A 日 程	令和8年 1月 8日（木曜日）	令和7年12月 1日（月曜日）から 令和7年12月12日（金曜日）	令和8年 1月26日（月曜日）
B 日 程	令和8年 2月10日（火曜日）	令和8年 1月19日（月曜日）から 令和8年 1月30日（金曜日）	令和8年 2月25日（水曜日）

※出願期間は土曜日、日曜日を除く ※郵送による出願の場合は期間内の消印有効

令和8年度学生募集から、農学科推薦入学試験について「学校推薦型」と「自己推薦型」を設置するよう変更されました。

種 類	受験資格	試験方法
学 校 推 薦 型	高等学校等を令和8年3月に卒業見込みの者で当該高等学校等における学業成績が特に優秀であり、かつ当該高等学校等の長が推薦する者（高等学校別に若干名）	推薦入学試験日に小論文試験および面接試験を実施
自 己 推 薦 型	高等学校を卒業した者（令和8年3月卒業見込みの者を含む）または高等学校卒業者と同等以上の学力があると認める者	入学願書等と併せて自己推薦書と小論文を提出 推薦入学試験日に面接試験を実施

※「募集人員」は、学校推薦型・自己推薦型を合わせて「約60名」

詳しくはこちらまで

千葉県立農業大学校

（東金市家之子1059）

TEL 0475-52-5121 FAX 0475-54-0630

HP <https://www.pref.chiba.lg.jp/noudai/>

HPは
こちら



TOPICS

「親子農業体験教室」開催！

ＪＡ全農ちばは８月１０日（日）、営農技術センターにおいて「親子農業体験教室」を開催しました。この企画は、日頃農業に接する機会が少ない子どもたちに農業体験を通じて農業や食に対する関心や興味を深めてもらうことを目的としています。

農業体験教室には、ＪＡ全農ちばがアシストスポンサーとして応援している「ジェフユニテッド市原・千葉」の“ジェフ色のなつ2025”に応募した親子、４０名が参加しました。

当日はあいにくの天気となったものの、千葉県的主要品目や“ＪＡ・ＪＡ全農ちばの役割”等について学習。また午後からは、とうもろこしと梨の収穫体験に挑戦しました。その後、「農協牛乳シリーズ」の牛乳とヨーグルトを使用した「ラッシー」作りや、収穫した品目に関連したクイズ大会を行い、クイズの全問正解者には「房総パーク」を使ったレトルトカレーをプレゼントしました。

参加した保護者からは「改めてＪＡが果たしている農業への役割を知ることができました。たくさんの努力と工夫で私たち消費者の手に農作物が届くことを知り、より大切に食べていきたいと思いました」と感想が寄せられました。

引き続きＪＡ全農ちばは、食育活動に取り組んでまいります。



